

①大学(薬・看護以外)・短大

② 入試区分

公募推薦Ⅰ期

③ 出題科目

現代の国語・言語文化（古文・漢文を除く）

④ 出題の意図

問題の一は、川添愛『世にもあいまいなことばの秘密』から出題。近年のことばの使い方について述べた論説文。設問では、基本的な漢字の書き取り、熟語の意味、文脈の把握、文章のキーワード、文章全体の趣旨などを問うている。

問題の二は、石川九楊『ひらがなの世界—文字が生む美意識』から出題。日本語における漢字・ひらがな・カタカナの働きについて論じた論説文。設問では、漢字の書き取り、四字熟語の選択、文脈をふまえた文章の補充、文章中で端的に述べられている表現を具体的に説明させることなどを問うている。

問題の一・二とも、論説的文章の基礎的な読解力を見る問題となっている。

現代の国語・言語文化「古文・漢文を除く」

【 設問一は著作権の関係で省略します。】

【 設問二は著作権の関係で省略します。】

理 工 学 部

人間生活学部

保健福祉学部

総合政策学部

文 学 部

選択

現代の国語・言語文化(古文・漢文を除く) 推薦Ⅰ期

一

著作権の関係で省略します。

二

著作権の関係で省略します。